



Annual Report

2017 - 2018

年次報告書



挑戦の伴走者に、熱意のつなぎ役に

「誰もがチャレンジできる社会の実現を目指して」

G-net は、2001 年 10 月に設立、2003 年に法人化をし、イベント、フリーペーパー、インターンシップ、創業支援、就職採用支援などさまざまな事業を展開してきました。

大切にしてきたことは、世代や立場でなく、ホンキで取り組む人同士がつながること。

どんなプログラムも、どんな仕組みも、どんな事業も実現に向けて、持続に向けて、ホンキで取り組むことなしに成果が生まれることはありませんでした。

2018 年、17 年目を迎えている今、あきらめずに挑戦し続ける企業、若者の存在が、新たなモデルとして、次の挑戦を生み出しはじめています。

『チャレンジフォーラム 2018』
G-net の新たなチャレンジをお伝えしつつ、皆さまと共に、これからを語り合えることを楽しみにしています。

NPO 法人 G-net 代表理事 南田修司

CONTENTS

■ 代表・副代表挨拶	3	■ 事業報告	
■ G-net Mission / Vision	4	● インターンシップ事業	10
■ G-net History	5	● 就職・採用支援事業	11
■ 2017→2018 Topic	6	● 社会人向け事業	12
■ Model Case	8	● 受託事業	13
■ インターンシップのこれまで	9	■ Partner Message	15
		■ 会計報告	16



**地方創生という言葉に盲目的にならず、
自分たち地域そのものが変わり続ける。**

**本当に面白く、チャレンジングな
まちづくり、ひとづくり、仕事づくりを、
多様なパートナーとの連携により実現する。**

代表理事 南田 修司

事業承継してあっというまに1年が過ぎました。15年目を迎えるホンキ系インターンシップ、6年目を迎えたミギウデ就職採用支援、そして新たにスタートした社会人向けプログラム。2017年は、G-netの事業にも様々な変化が現れた1年でした。代表交代により組織の役割の変更、刻一刻と変化するインターンシップに対する動き、個々人の働く意識への変化、働き方改革へのうねり……。ひとつひとつが、「G-netは何者か？」という根本的な問いに自分たちを立ち戻らせてくれました。

インターンシップが氾濫する中で、地域内の仕組み作りを続けているだけで良いのか？

G-netをモデルに立ち上がっては消えている地域の取り組みに対して知らないふりをしている良いのか？

地方創生というブームにのっかり、盲目的に若者を搾取していないか？

色んな問いが生まれては、外部理事や職員、プロボノメンバーなどと議論を交わらせてきました。正直に言うと、変化の中で、G-netは5年後には全然違うことをやっている。そういうこともあるのではないかと感じています。地域の産業を元気にする。「思いを言葉に、言葉を行動に」できる、当事者意識をもった若者を輩出する。それは何ひとつ変わっていません。ただ、そのためにできることは何か？この1年だけでなく、次の3年、次の10年と先を見据えて、これからを考えていくタイミングが来たと感じています。

1年目を無事に乗り切り、代表2年目がスタートしています。G-netという組織だけにこだわらず、より多様なパートナーと交わり、大きなインパクトを出せるような2年目としていきたいです。これからも共にチャレンジする仲間としてよろしくお願いします。

副代表理事 田中 勲

G-netに入社したばかりだと思っていたら、5年が過ぎ6年目を迎え、職員の中でも長く勤務している存在となりました。入社後「新規事業部」という部署に所属をし、創業支援やソーシャルビジネスの中間支援、女性活躍の企業支援など様々なことを担当させられながら、5年かけて就職・採用支援の仕事を立ち上げて参りました。入社時は28歳独身実家暮らしだった自分も、お陰様で結婚し子供を授かり、NPO職員ながらも新築の家を建てることもできました。幸せに歳をとっていますということが言いたいのではなく、G-netというフィールドのお陰で公私ともに成長できたと実感しております。これからはG-net全体の前進と、それぞれ職員がより成長して行けるフィールドづくりに貢献したいと思っております。ミギウデ事業に限らずG-net事業全体を統括し、地域社会のために邁進し、G-netが地域を牽引する日本代表として活躍できることを目指します。引き続きご支援のほど何卒よろしくお願い申し上げます。



G-net Mission / Vision

G-net Mission - 私たちの使命

地域産業の経営革新と、担い手となる右腕人材の育成に取り組み、地域活性を支える事業を輩出し続ける



G-net Vision - 私たちの目指す社会

誰もがチャレンジを保証され、支えあうことができる
そして、挑戦が評価され、連鎖する社会の実現を目指す



G-net が考える地域活性には、地域の当事者となる人材の育成と活躍するフィールドとなる産業の活性が欠かせない。しかし、ひとつひとつの成長や変化を実現させる絶対的な解はなく、時代や環境の中で常に変化を続けている。そのため、大切にしたいことは『常に挑戦的である』こと。このまちの挑戦の絶対数を増やし、挑戦の精度が高まるコミュニティを構築することで、変化や成長を実現できる地域づくりを目指していきたい。そして、地方都市岐阜から始めることで、他地域や社会全体に波及させていく。

G-net の取り組む打ち手



- ミギウデ伴走サポート _____ 【定着】
- 就職・採用支援事業「ミギウデ」
ミギウデスカウト型合説 _____ 【新卒】
シゴトフェスタ
- 日本仕事百貨、ミギウデ中途
大人のインターン「シェアプロ」 __ 【中途】
ふるさと兼業
- 地域若者チャレンジファンド _____ 【創業】
- 長期実践型インターン（6ヶ月程度）
- 地域協働型インターン（4-6週間程度）
- 複数企業取材型インターン（シゴトリップ）
- ビジネス体感プロジェクト
- 大学と連携した授業プログラム
- 若者が選ぶ魅力的な中小企業〇〇選
- しごとバー名古屋
- ホンネカフェ／ミギウデセミナー



事業のポイント

- 1 人材が育まれる、生産性が最大化できる組織作り
- 2 挑戦的なフィールドを開拓し、成長できる機会提供
- 3 自身の当事者へ、そして社会の当事者へと成長できるコミュニティづくり
- 4 共感を呼ぶ事例を創出し、挑戦を誘発する仕組み作り
- 5 成果にコミットし、多様な組織と共創できるグランドデザイン

第1フェーズ 主体者としての G-net / 期間限定団体 (6ヶ月) として立ち上げ

(03) NPO 法人格を取得

(01~04) カウントダウン



年越しイベントを開催。
岐阜が面白い・・・

(01~) トークライブ

G-net night!



全国から挑戦者を岐阜に招聘。
チャレンジ精神の伝播

(02~07) ビーンズフェスタ



挑戦する夢の豆が集まる年に
1度の祭典。

(03~07) フリーペーパー



ORGAN / Beans! の発行
チャレンジする人を取材し、若者へ

第2フェーズ 伴走者としての挑戦 / まちづくりからひとづくりへのシフト

実践型インターンシップ / UI ターン支援事業

経産省 / チャレンジコミュニティ創成事業採択 (04~06)

- (04~) 『ホンキ系インターンシップ』 事業スタート
- (10~) 『地域協働型インターンシップ』 事業スタート
- (13~) 『複数企業取材型インターンシップ』 事業スタート



インターンシップフェア
10人程度から始まったフェアも100人を超えるイベントに

- (07) 岐阜大学等授業開始
- (08) ノウハウ移転事業 開始
東紀州地域 (08~) 岡崎市 (12~)
- (10) 地域若者チャレンジ大賞受賞
- (13) 岐阜信用金庫 / 百五銀行事業提携
- (14) CD 養成講座を他機関向け開始
- (14) 名古屋学院大学現代社会学部連携
- (15) 飛騨信用組合事業提携
- (16) 中小企業経営革新賞受賞
- (16) 名古屋商科大学連携協定締結
- (17) 金城学院大学連携協定締結合意
- (17) 社会人領域をスタート

創業支援・中間支援事業

経産省 / 創業支援フォーラム・創業塾開催 (06)

- (07~09) インキュベーションオフィス『かけたす』
- (08~) ブラザー工業協賛『東海若手起業塾』スタート
- (13~) 岡崎ビジネスサポートセンター『OKa-Biz』



東海若手起業塾
ボードメンバー、事務局、伴走コーディネーターを担当



OKa-Biz
創業者、秋元祥治がセンター長に就任。行列のできる経営相談所に

経産省「新連携地域資源活用プログラム」等採択 (06~) / 経営力向上にむけ理事会改組 外部理事を招いた組織運営にシフト (09~) / 東日本大震災復興支援活動 (11) / みちのく復興イニシアチブに参画 (12) / 岐阜大学「学生ボラネット」立ち上げに参画 (12~) / ゴールドマンサックス中小企業経営革新プログラム (14) 最多採択

第3フェーズ 伴走からコミュニティづくりへ / 地域産業の経営革新と右腕人材の育成へ

就職採用支援事業 (ミギウデ事業)

中小企業の右腕に特化した就職採用支援事業をスタート

- (15) 中小企業庁『UIJ ターン人材拠点事業』採択
- (16~) 中部経済産業局『中部地域における地域中小企業・小規模事業者の人材確保支援等事業』採択



- (14) 地域で活躍する若者の事例集『「みぎうで」という働き方』発行
- (14) グロービス経営大学院名古屋校と連携した社会人向けプログラム
- (15~) 国の事業受託に伴い、東海・中部圏域での事業開始
- (15~) 日本仕事百貨、大ナゴヤ大学と連携し「しごとパー名古屋」スタート

(12) 白書発行



岐阜中小企業と若者就職白書 1,2号発行

(13) 100選発行



若者が選ぶ魅力的な中小企業 100 選発行

地域若者応援ファンド「Beans Fund」の新設 (12~) / 若者と企業と地域のための研究所 設立 (12) / 他機関との事業連携を加速 / 日本仕事百貨 (12~) / 楽天株式会社地域活性グループ (15~) / クラウドファンディングで支援を受け事務所を改装・コワーキング化 (15~) / LGBT フレンドリーな組織作りを目指し、社内規定を改定 (16)

この1年もG-net 社内外で色んなことがありました。
ここでは、その一部をご紹介します。

地域での長期実践型インターンシップのパイオニアとして 全国へ向けて更なるパートナーシップの強化を推進

内閣府まち・ひと・しごと創生本部の地方創生インターンの推進委員に代表理事南田が就任。

岐阜エリアのインターンシップコーディネイト団体としてではなく、日本全体のインターンシップの品質向上に向け『インターンシップ品質保証会議』を主催。行政、大学、企業団体など多様なステークホルダーを巻き込んだ品質会議をスタートし、その一つとして地方創生インターンシップの推進にも関与することとなりました。また各地で企業向け、大学向けの講演、インターンシップの立ち上げ支援などにも取り組み、G-net のノウハウ公開、共有を進めています。

G友会（地域でホンキの実践友の会）発足

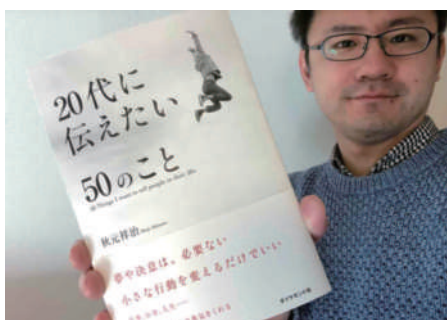


「地域で経営革新に挑戦する中小企業」同士がつながることで、「若者が地域へ飛び込み挑戦したいと思える魅力」を持つ地域を育むことを目的とした企業の集まりです。

目指すこと

- 企業間コラボによるプロジェクトが立ち上がる
- ノウハウ共有による事業の収益 UP
- 仕事への関わり方が多様になっている
- 会員になることがステータスになる
- 実践したいと思う経営者が増え、会員も G-net としても新たな縁が増える

創業者・理事 秋元祥治が本を出版



創業者であり現理事でもある秋元祥治が「20代に伝えたい50のこと」を出版。

アゴラ、ダイヤモンドオンライン、リクナビNEXTジャーナルなどWEBメディアにても多数紹介され、各書店にて好評につき重版されました。

「夢や決意は、必要ない。小さな行動を変えるだけでいい。」
仕事にも人生にも悩む20代に贈る50のこと!!



働き方の多様化のモデルへ

1. G-netフルタイム「兼学・中途採用」
 型にはまらない働き方
 2年以内の期間限定で、3年以内には卒業したいという学生卒業後の人も見られます。3年以内には卒業したいという学生卒業後の人も見られます。

2. プロジェクト型
 卒業後、G-netのプロジェクトに参加し、期間限定で、プロジェクトごとに参加することが出来ます。一定経験値の獲得、勤務時間の調整も可能です。

3. アドホック
 卒業後、G-netのプロジェクトに参加し、期間限定で、プロジェクトごとに参加することが出来ます。一定経験値の獲得、勤務時間の調整も可能です。

4. インターン
 卒業後、G-netのプロジェクトに参加し、期間限定で、プロジェクトごとに参加することが出来ます。一定経験値の獲得、勤務時間の調整も可能です。

働きやすい環境づくりに加え、多様な人が G-net に参画できる仕組み作りとして、採用ポリシーを一新しました。

新卒採用の定義の見直し、プロジェクト単位での参画や、時短勤務制度の設置などを進めています。パラレルキャリアの選択肢として G-net やソーシャルな現場が選ばれ、多様な人たちの力を集め、パフォーマンスを最大にできる仕組みを整えはじめています。

これからは、他団体の人材交流なども仕掛けていきます。

兼業・複業者の積極採用 & 社会人向け事業を本格化



多様な働き方に対応できるモデル作りを目指し、G-net での兼業・複業者の採用を積極的に実施。

フリーランス、NPO 掛け持ち、2 拠点ワーカー、ライフワークとの両立など様々な人が在籍するようになりました。そして、その経験を活かし社会人向けのプログラムを始動しました。

しごとバー名古屋ファンコミュニティ拡大中

東京のリトルトーキョーにて実施されてきた「しごとバー」の暖簾分けをさせてもらう形でスタートした「しごとバー名古屋」。3年で Facebook ページのファンが1000名を超えました。

これからも大ナゴヤ大学と連携し、都市部にすむ若い人たちに、もっと地域の魅力的な企業を知り、地域で『はたらく』という選択肢もあるんだということを知ってもらう機会をつくり続けたいと思います。

Model Case

船橋株式会社 ホンキ系による事業加速・組織開発、ミギウデが集まる企業へ

(15~) ホンキ系インターンシップ参画 / 8名以上
(17~) ミギウデ参画 / 3名の右腕採用

大正10年創業の老舗カッパメーカーが世の中を変える。
ビジョンを社内外に丁寧に共有することで、若者が集い挑戦できる組織へ。



入社した若手社員5名 / 若手・女性・障がい者など多様な人材が活躍する組織へ

- 社長の思いを共有する右腕人材の採用。移住しても就職したい若者が集う企業へ
- 売上向上、新規市場の開拓
- 挑戦する風土、ビジョンを共有できる企業へ
- 将来の工場長候補が入社。一般社団法人立ち上げ⇒高齢者・障がい者の雇用拡大へ多様な人材を活かし、ダイバーシティ経営に取り組む
- 社会人インターン（シェアプロ）の2・3期に参画

チャレンジしたプロジェクト（一部紹介）

シェアプロ

『日本初の防欠性食肉加工専用のエプロン「タフブラード」展示会での効果的施策、営業戦略提案』

- ➡ 展示会ブース来訪者、顧客見込みが昨年度よりもUP

ホンキ系インターン

『雨の日の危険から守る！

世界一“安全で”カワイイ♡レインコートを小学生1万人に届けるプロジェクト』

- ➡ クラウドファンディングにて、想いに共感してくれる仲間を集め、目標金額達成！
- ➡ 幼稚園・小学校、大手企業と連携し交通安全教室を開催。
- ➡ ゴールドマン・サックス中小企業経営革新プログラムへの参画。最終報告会にて代表プレゼンを務める。
- ➡ トヨタ自動車を実施する交通安全啓発活動の記念品として採用。

インターンシップのこれまで

インターン参加人数

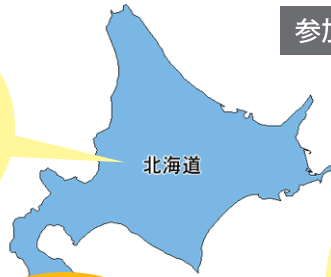
754名



参加学生の主な大学の所在地

※数字は2018年7月現在

最北端の参加者はなんと道都大学から！



遠くはアメリカ、オランダから！カリフォルニア州立大やネブラスカ州立大などから過去6名が参加しています！

岐阜

95名

最南端はAPU (立命館アジア太平洋大学) から！

愛知

593名



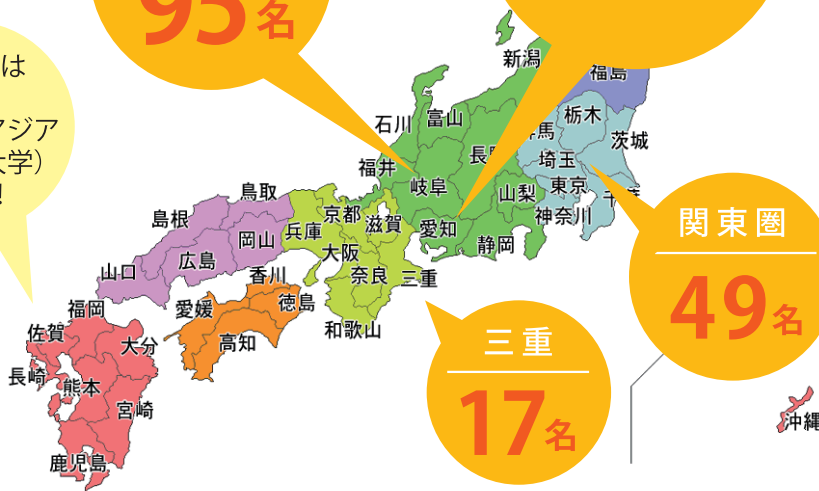
オランダ コトレヒト州 ツイド大学からの学生と教授、受入企業丸八テント様。単位化されました。

関東圏

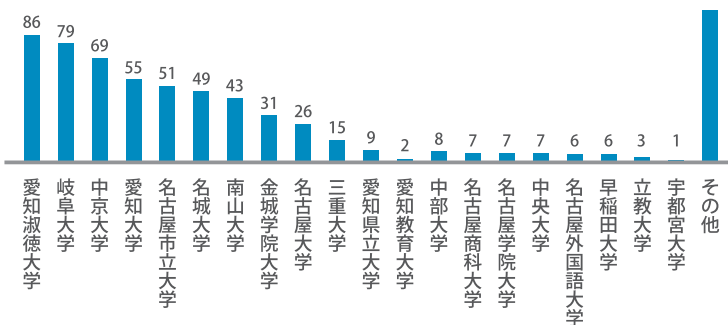
49名

三重

17名

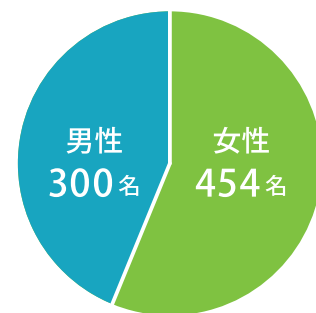


大学別内訳



参加学生数、岐阜 No. 1 は岐阜大学。
愛知では、愛知淑徳大学／中京大学／愛知大学／名古屋市立大学／南山大学から多くの学生が参加している。関東や海外からの留学生の参加も。

男女別内訳



全体として女子学生の参加が増えているが、中期の地域協働型インターンシップでは男子学生の参加数が伸びている。

主要な大学でインターン OBOG による「インターン・コミュニティ」が継続しているだけでなく、教員との連携が加速し、学内での説明会開催など新たな接点を通じての参加が増えるようになった。OBOG によるイベント運営なども定着している。同様に、受入企業の募集も口コミ紹介や他事業での関係性をきっかけに、着実に増えている。

インターンシップ事業

'17

インターンシップは、品質担保の時代へ
激変する環境の中で、確かな質を担保するプログラム設計
仕組み作りを支える土台としての G-net に



- プロボノなど新たなコーディネート仕組みスタート
 - － 外部メンター、プロボノを活用したコーディネートや研修を展開（中間報告会、各プロセスなど）
 - － インターン OBOG がメンターとしてプロジェクトやメンタル面をサポート
- 社会人版のインターンシッププログラムのモデル開発（シェアプロ 1・2 期）
 - － 社会人の研修機会としてインターンシップのノウハウを基礎としたプログラムを開発
 - 【1 期】各務原商工会議所と協働で実施。その取り組みがパラレルキャリア賞受賞。
 - 【2 期】富士ゼロックス(株)と協働で実施。次世代リーダー研修の一環として導入。
- ホンキ系インターンシップ事業（2016 年度）における、社会的投資収益率（SROI）投資額（総費用）に対しての成果は、直接的効果 5.03 倍 / 間接的な効果付与 6.52 倍
- 愛知県事業「あいちモノづくり就労体験留学プログラム」16,17 年度と連続で採択。短期インターンや中期インターンでの品質向上に向けたプロジェクト設計や仕組化を推進



OBOGメンターとともに研修で学びあう様子



'18

インターンシップの定義を見直し、G-net だけでなく、
企業や大学、他地域に展開することで、全体の底上げに取り組む。
品質向上に責任もって取り組む企業が選ばれる新たな仕組みを東海圏で展開。



- インターンシップの品質基準
 - － 全国の協力団体と連携し、インターンシップ品質基準を設置。定期的にミーティングを実施。5 月には第一回「インターンシップ推進ミーティング」を実施。
 - － 基準に基づく認証や教育プログラムの作成
 - － 品質向上に取り組む企業を認定し、大学や若者から見える状態へ
 - － インターンへの積極的なコミットメントが企業ブランドにつながる仕掛けに。
- 大学生の枠を超えたインターンシップの新たな展開
 - － 社会人版のインターンシッププログラム（シェアプロ）のモデル開発
 - － 地域企業・地場産業の後継者向け修行プログラム（2,3 代目向けプログラム）として発信
 - － インターン OBOG のコミュニティ化（インターンを超えた縦の繋がりへ）
- ホンキ系インターンシップの底上げと、時代に合わせた新たな展開へ
 - － 経営革新プログラムとして「ホンキ系インターンシップ」のプロジェクト品質の向上へ
 - － 大学、企業ともに時代や課題に合わせたプログラム開発を実施。

'17

18卒は過去最多の15社に30名がマッチング。
累積マッチング実績は**57名**に。



●意欲ある若者と地域中小企業のマッチングノウハウを蓄積。

18卒全般では、大手志向が52.8%と8年ぶりに過半数になり、「安定」や「給与」を重視する傾向も高まりました。そんな中、学生には10月からスクール形式でセミナーなどを実施し、条件面だけではない就活軸の形成を、企業には選考設計から内定者フォローまで一貫したコーディネートを行いました。結果、1年目から裁量のある仕事がしたい、キャリア自律を実現させていきたい、という学生とその挑戦の場である地域中小企業のマッチングが多数生まれました。



採用イベント「ミギウデスカウト型合説」の様子



'18

自主事業として自立完了し、地域で採用し、地域で育てる「コミュニティリクルーティング」に向けて動き出す。



●自主事業化完了年度として、事業単独黒字となるための売上確保、安定したマッチング実績、徹底した業務効率化を目指す

事業をスタートしてから6年目を迎える今年度、自主事業化を完了すべく、事業単独黒字となる売上と安定したマッチング実績にこだわります。また、その業績を再現可能なものにするため、徹底した業務効率化・仕組化をはかります。そうして事業の基盤を固めた先に、これからの地域にとってより必要とされる価値を生み出していきたいと考えています。

●「経営者と学生メンターと進める就活スクール」を実施

コミュニティリクルーティングの一環として、この就活スクールを10月から来年1月までの4ヶ月の期間、実施します。自社とのマッチングだけでなく、目の前の学生の成長やキャリア自律を支援することとして、現在、12人の経営者の皆様にご賛同いただいています。そして学生達には、「内定も、夢も、成長も」掴み取れるような就活スクールとして、80名の参加を目指しています。

※「コミュニティリクルーティング」とは

この地域で人の採用と育成に本気の企業がつながり、地域コミュニティをつくり、みんなで採用し、みんなで育てる、というものです。今後、個々の企業が採用力を高めていくこともさることながら、地域ぐるみで採用活動を行うことや、学生に今の社会、これからの社会の中で必要なキャリア観を伝えていくことが必要不可欠です。そうすることで学生が広い視野を持ってキャリア選択をすることにつながり、地域中小企業への関心を高めることにもつながっていくと考えています。

'17

社会人を対象とした事業を本格的にスタート
人口減少社会の中で、多様な人材を活かす組織作りの応援、
変化する個々人に寄り添った事業として展開

参加企業
(のべ) **10社**

参加した
若者数 **40名**

連携機関 **2機関**



- ホンキ系インターンシップで蓄積したノウハウを活用し、社会人版インターンシップ「シェアプロ」をスタート。行政や大手企業連携で仕組化が加速。
 - － 社会人の研修機会としてインターンシップのノウハウを基礎としたプログラムを開発
 - － 日経新聞やwebメディアなどにも掲載されました。
- 【1期】 各務原商工会議所と協働で実施。
中小企業庁「パラレルキャリア賞」を受賞。
- 【2期】 富士ゼロックス㈱と協働で実施。
次世代リーダー研修「FLCP」の一環として導入。
28人が参加しました。

18年3月発行の日本商工会議所「石垣」にも掲載



'18

他地域と連携し、大手⇄中小／都市部⇄地域の人材流動性を
高める仕組みづくりに着手。シェアプロの他地域連携や、他地域連携による
兼業・プロボノプラットフォーム「ふるさと兼業」を立ち上げ！

参加企業
(のべ) **15社**

参加した
若者数 **50名**

連携機関 **10機関**



- パラレルキャリア準備室
 - － 潜在的な兼業ニーズを持った若者を対象としたオンラインサロンを開設。
- シェアプロ第3期、第4期
 - － 社会人版のインターンシッププログラムを仕組化
 - － 地域企業・地域産業の後継者向け修行プログラム（2,3代目向けプログラム）verの開発
- 複数の地域で連携した「ふるさと兼業」の運用開始
 - － 東京、石川、大阪、鳥取、北海道など複数の地域と連携した兼業プラットフォーム「ふるさと兼業」の運用を2018年8月スタート

'17

中部経済産業局

「中部地域における地域中小企業・小規模事業者の人材確保等支援事業」

15年度に取り組んだ中小企業庁の「UIJ ターン拠点事業」から引き継ぐ形で実施した事業。
16年度の本事業に続き継続して事業を受託。

	計画	実績	達成率
採用力強化研修	● 実施回数：5回 ● 参加企業数：65社	● 実施回数：7回 ● 参加企業数：109社	● 実施回数：140% ● 企業数：168%
シゴトリップ	● 受入企業数：20社 ● 参加若者数：100人	● 受入企業数：24社 ● 参加若者数：158人	● 企業数：120% ● 若者数：158%
個別伴走コンサルティング	● 支援企業数：25社 ● 実施回数：25回	● 支援企業数：39社 ● 実施回数：82回	● 企業数：156% ● 回数：328%
定着支援研修	● 実施回数：6回 ● 参加若者数：80人	● 実施回数：6回 ● 参加若者数：92人	● 実施回数：100% ● 参加数：115%
しごとバー	● 実施回数：9回 ● 参加若者数：135人	● 実施回数：10回 ● 参加若者数：186人	● 実施回数：111% ● 若者数：138%
プロジェクト型 マッチングイベント (はたレボ EXPO)	● 実施回数：2回 ● 参加企業数：22社 ● 参加若者数：150人	● 実施回数：2回 ● 参加企業数：22社 ● 参加若者数：123人	● 実施回数：100% ● 企業数：100% ● 若者数：82%
シゴトフェスタ名古屋	● 実施回数：1回 ● 参加企業数：30社 ● 参加若者数：200人	● 実施回数：1回 ● 参加企業数：36社 ● 参加若者数：156人	● 企業数：120% ● 若者数：78%
web 上での魅力発信	● 取材企業：10社	● 取材企業：10社	● 企業数：100%

事業を通じて見えてきたこと

- 1 若者は、中小企業への就職・転職に対して潜在的にニーズをもっている。しかし、働き方、やりがいのある仕事など若者が関心を持てるような情報訴求など、適切な出会いの設計が不可欠。
- 2 ターゲットに応じた訴求方法、取り組みを展開していくことが重要。刹那的な合同企業説明会等だけでは、瞬間的なパイの奪い合いにしかならず、結果的には大手やブランド力ある企業に勝てない。潜在的な就職・転職ニーズを持つ母集団を集める段階的な打ち手が必要。
- 3 意欲ある若者の採用に取り組むには、ただ魅力を紹介しているだけではダメ。ブランド力ある企業や条件の良い企業と比べても興味を持てるような、魅力ある仕事やプロジェクトまで踏み込んだ情報発信がこれから要になってくる。
- 4 合同企業説明会等で接点をいくら増やしても一時的なマッチング増にしかつながらない。増える内定辞退、高い離職率という現実問題に対応できる企業としての魅力を高め、働きやすい組織づくりが自律的に採用に取り組める中小企業を増やすことにつながる。
- 5 意欲ある中小企業でなければどんなに学ぶ機会を提供しても効果は限定的である。行政予算を活用している以上、より熱意をもって努力できる中小企業の発掘、育成が不可欠である。無料でできる採用サービスになってしまっただけではいけない。
- 6 継続的に学び続け実践を続けた企業は採用難の時代においても着実に採用力を高め成果につなげることができる。本事業内での支援だけでなく、事業終了後も持続的に学び続ける仕組みが求められる。

こうしたことに加え、人材不足がさらに激化するこれらを見据えたときには、多様な働き方を受け入れられる土壌づくりや、積極的な兼業者の雇用などの仕掛けが求められる。

Partner Message

山川醸造株式会社 代表取締役社長 山川 晃生 氏 / ホンキ系パートナー企業



NPO 法人G-net の「ホンキ系インターンシップ」との出会いから10年が経ちました。その間に長期・短期のインターンシップを合わせると20名以上の大学生を受け入れて参りました。今では春と秋の恒例行事になった蔵開放イベントも、当初はインターン生無しでは実施が危ぶまれる状況でしたが、インターン生と共に仕事をする中で社員の意識も大きく変化し、地域の方々に楽しみにして頂ける行事になりました。それ以外でも営業、店舗の運営、工場見学ツアーの企画等でインターン生には活躍して頂きました。社会へ飛び立とうとする若者がチャレンジするこの現代版丁稚奉公の成功は裏側で支える G-net のコーディネーターの存在抜きにはありえません。今、働き方が大きく変わろうとしている中、ミグウデ事業等の新たな事業展開を進める G-net の果たすべき役割は増々重要なものになると思います。G-net の今後の更なる活躍を期待しています。

岐阜大学工学部社会基盤工学科（環境コース） シニア教授 高木 朗義 氏



G-net との出会いが高木の人生を変えました。決して言い過ぎではありません。高木が今、地域の課題に向き合い、その解決に向けて様々な挑戦している原点は、G-net の「思いを言葉に、言葉を行動に。」という言葉に胸に挑戦し続ける姿勢にあります。そんな G-net のそばにしていると、なぜかわかりませんが、心の底からやりたい／やらねばならぬという気持ちが湧き上がって来ます。単なる負けず嫌いなだけかもしれませんが（笑）。こんな高木ですが、これからも G-net と一緒に、さらなる高みを目指して、自分自身も挑戦し続けていきたいと思っています。

船橋株式会社 代表取締役社長 舟橋 昭彦 氏 / ホンキ系・ミグウデパートナー企業



4 年前にG-net とご縁をいただき8人のインターン生を受入れてきました。インターン生だけでなく、ミグウデ・はたレポ EXPO にて5人の優秀な社員を採用することができました。長期インターンシップ受入ではものづくり補助金の申請から特許申請、そしてカップ屋の強みを活かした「とういんくる☆コート」プロジェクトでは、クラウドファンディングへの挑戦、ゴールドマンサックスの中小企業経営革新事業、多くのメディアにも取り上げてもらい、現在も子供を地域の企業・中学生・老人会と一緒に交通事故から守る活動を続けています。また、今年のシェアプロでは大手企業の社員と一緒にプロジェクトを進め、意欲ある若手社員に成長の機会を与えることができました。多くの中小企業では人材不足もあり、新たなイノベーションに挑戦することは難しいと思います。弊社も5年前までは採用難・多くの離職者に苦しんでおりました。G-net と一緒に取り組むことで、自社の強みを知り、学生や社員との向き合い方や社員教育の重要性など多くの気づきを得ることができ、大きな成果を出すことができたことを心より感謝します。これからは若者と高齢者・障がい者が仕事を通じて幸せを実感できる職場作りに挑戦していくつもりです。会社だけでなく地域のコミュニティ作りに貢献できる会社に育てていきたいと思っています。これからも G-net の益々のご発展を祈念しています。

富士ゼロックス株式会社 次世代リーダー育成プロジェクトリーダー 三木 祐史 氏 / 社会人事業パートナー



2018 年 1 月～4 月で実施したシェアプロ 2 期に、富士ゼロックスの次世代リーダー研修受講メンバー 28 名を受け入れていただきました。各メンバーが経営者のビジョンに共感し、地域企業のプロジェクト成功に知恵と時間をつぎ込んで奮闘した経験は、研修では絶対に得られない“実践を学ぶ” 有難い機会であったと心から感じています。シェアプロは、地域企業の課題解決だけでなく、大企業や都市圏で働く社会人のキャリア形成にとっても非常に魅力ある取り組みだと感じています。地域や企業の枠を超えた可能性を社会に提示し、世の中に活き活きと働く社会人を増やしていけるよう、是非この取り組みを一緒に広めて行きましょう！ G-net の更なるご発展を期待しております！

G-net プロボノサポーター

今永 典秀 氏

岐阜大学 地域協学センター特任助教 / NAGOYA×FOREVER 設立



近年の G-net は、地域の中小企業と大学生の取組に加えて、時代の流れと G-net の強みを生かして、新たに社会人のプロボノを活用した「シェアプロジェクト」や、兼業・副業などを捉えたパラレルキャリアに関する取組みなど時代を先取りチャレンジし続けると感じています！私自身も NAGOYA×FOREVER をパラレルキャリアで実施することを通していろんな接点を持つことができ、複合的に有機的な融合ができたことに面白さを感じています。これからの G-net が巻き起こす旋風が目が離せませんね。

谷口 利典 氏

ブラザー工業（株）環境製品グループ・マネジャー



G-net の顧客企業さんや連携する諸団体の方々、そして若いスタッフたちからいつもたくさんの学びをもらい、それを本業や他のプロボノ活動に活かしています。自分自身もまた、いつの間にかパラレルキャリア実践者のような日々となり、その変化も楽しみながらいろんな事にチャレンジしております。新規事業分野でこれらに貢献していきたいと思っておりますので、G-net 共々、今後ともよろしくお願いたします。

2017年度会計報告 (2017年6月1日～2018年5月31日)

総括

2017年度は収益が98,459千円で、前年度比115%増、正味財産増減額は14,618千円でした。この利益は、次年度以降の事業、新たなチャレンジに投資していきます。収益の内訳は、自主事業収益が全収益の60%（前年度比134%）、行政受託収益が35%（前年度比82%）、補助金が5%でした。自主事業収益の金額と全収益に占める割合は共に年々増加しており、順調に事業規模の拡大をしております。

収支推移

	(前年比)	2017年	2016年	2015年	2014年	2013年
収益	115%	98,459,819	85,741,493	115,977,468	78,115,947	72,124,273
支出	103%	83,841,107	81,188,763	101,328,884	75,367,949	75,370,902
正味財産増減額	321%	14,618,712	4,552,730	14,648,584	2,747,998	-3,246,629

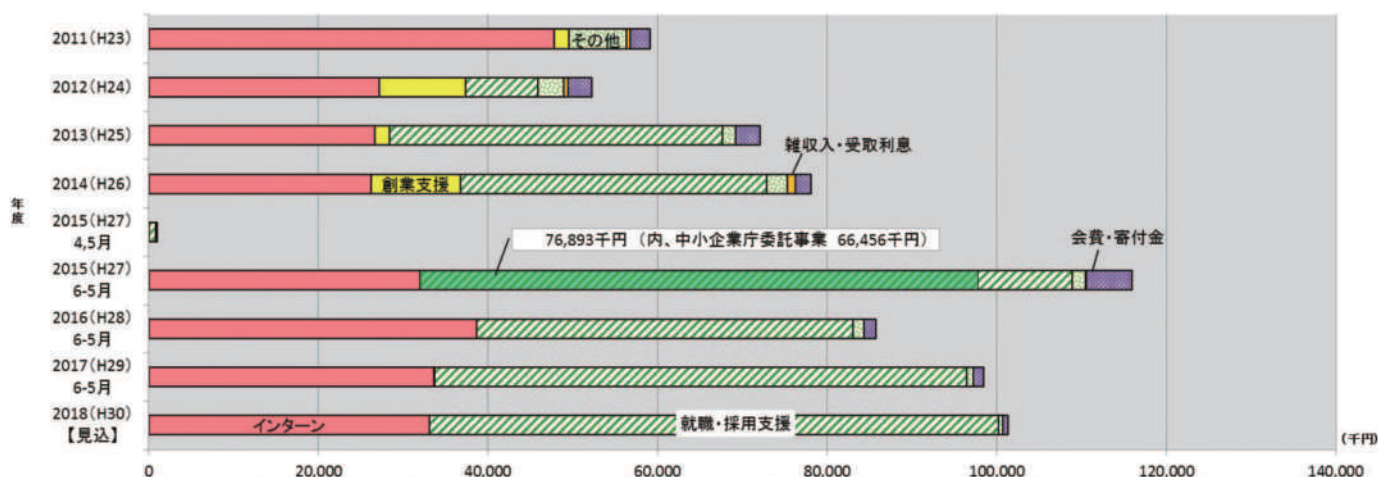
収益種類

	(前年比)	2017年	(全体に占める割合)	2016年	2015年	2014年	2013年
自主財源	134%	56,591,503	57.5%	42,151,016	37,067,709	27,991,818	25,732,362
行政受託	82%	35,863,089	36.4%	43,589,353	78,904,201	31,738,154	38,858,046
補助・助成	-	6,000,000	6.1%	0	0	14,993,454	7,521,276
その他	465%	5,227	0.0%	1,124	5,558	909,191	12,589

事業別収益推移

	(前年比)	2017年	(全体に占める割合)	2016年	2015年	2014年	2013年
インターン事業	87%	33,630,483	34.2%	38,678,962	31,979,623	26,262,430	26,689,532
就職採用支援事業	142%	62,796,238	63.8%	44,353,903	76,892,725	36,165,548	39,338,852
創業・中間支援事業	-	64,815	0.1%	0	59,889	10,460,946	1,667,668
その他	58%	775,741	0.8%	1,335,044	1,594,720	2,459,426	1,504,866
雑収入・受取利息	33%	373	0.0%	1,124	5,558	909,191	12,589
会費・寄付金	87%	1,192,169	1.2%	1,372,460	5,444,953	1,858,406	2,910,766
合計		98,459,819		85,741,493	115,977,468	78,115,947	72,124,273

全体収益の構成推移



	2018 (H30) 〈見込〉	2017 (H29) 6-5月	2016 (H28) 6-5月	2015 (H27) 6-5月	2015 (H27) 4,5月	2014 (H26)	2013 (H25)	2012 (H24)	2011 (H23)
■ インターンシップ	33,108,000	33,630,483	38,678,962	31,979,623	12,441	26,262,430	26,689,532	27,185,673	47,817,961
■ 創業支援・中間支援	0	64,815	0	59,889	0	10,460,946	1,667,668	10,165,734	1,715,463
■ 就職・採用支援	67,119,999	62,796,238	44,133,504	76,892,725	768,149	36,165,548	39,338,852	8,518,800	0
■ その他	500,000	775,741	1,335,044	1,594,720	114,630	2,459,426	1,504,866	3,095,220	6,825,640
■ 雑収入・受取利息	0	373	1,124	5,558	437	909,191	12,589	531,133	386,873
■ 会費・寄付金	599,800	1,192,169	1,372,460	5,444,953	118,711	1,858,406	2,910,766	2,720,182	2,393,768

Alumni Message

『石、転がり始める、スタート地点』

石早通 のうひ葬祭
長期 19 期 G-net

『個性を引っ張り 背中を押し続けてくれる存在』

鈴木可奈 飛騨五木 森ワクマーケット担当
長期 23 期 株式会社リバーシブル

『迷いながら踏み出した一歩 背中を強く押してくれる存在』

祖父江光祐 株式会社イビソク
中期 8 期 ひとひとの会

『岐阜の魅力ともものづくりのおもしろさ、 自分の人生の楽しさに出会えた場所。』

佐藤七海 大橋量器
長期 22 期 山田木管工業所

『人生のストッパーを外す手段』

伊藤早紀 株式会社 Parasol Forky 編集長
長期 13 期 マイルポスト/中期 3 期 ひとひとの会

『自分のホンキさに気づくスタートライン』

谷合俊明 株式会社 Kitamura Japan/NPO法人メイド・イン・ジャパン・プロジェクト専務理事
長期 10 期 ゴッタライド/長期 13 期 Kitamura Japan

『スタートの“点”が打たれた場所。 そこからたくさんの点と線が結ばれ、 今でも生き方の“道しるべ”となっています。』

松尾早希子 武雄市役所
長期 10 期 石本果樹園

『自分の人生を切り開いた一歩!!』

平野佑果 三菱 UFJ 銀行
長期 10 期 山川醸造

『将来に対する漠然とした不安を解消できる場所、 そして高校の保健室のように終わった後でも ふらっと立ち寄れる場所』

新井宏典
長期 21 期 ユニオン電子工業

『人生のボーナスステージ』

羽田知弘 株式会社西栗倉・森の学校
長期 12 期 G-net

『全てのご縁のはじまり。そして人生を大きく変えた出会い。』

下川あんず yaotomi
中期 4 期 yaotomi

『新たな選択肢を教えてくれて、 諦めることを諦めさせてくれた場所』

高橋良太 ひだまりほーむ
長期 27 期 G-net

『自分のことを見つめ直せる場所』

清水彩 タナック
長期 17 期 三州野安

『自分の無能さを痛感した。 だからこそ多くのことが吸収出来て、 多くの尊敬できる人が出来た』

光岡彩加 東愛知日産自動車
長期 22 期 助六

『今も、これからも、変わらぬ原点』

高橋義挙(みりん) 名古屋医健スポーツ専門学校
長期 15 期 杉浦味淋

『ホンキ系とは社会の窓!』

浅野恭平 株式会社イデアインターナショナル
長期 16 期 岐阜美少女図鑑

『師匠兼ダチ(南田さん)との出会い』

早川昇吾 エムスリーキャリア株式会社
長期 12 期 G-net

『大学での知識をすぐに実践でき、 これだと思える仕事が見つかった場所』

伊藤祐子 ケアプロ株式会社
長期 16 期 山川醸造

『社会への扉、志をもらう場所。 投げ出したくなるときに踏みとどまれる火種』

酒井智代 株式会社 LITALICO
長期 13 期 大橋量器

『自分と向き合って、今の自分の最大限の力と 自分の可能性を確かめて発見する機会』

櫻井亜美
長期 21 期 山川醸造

ご支援のお願い

G-netのサポーターとして、チャレンジを支えていただけますよう、皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。

寄付金額

個人会員：1,000 円～ / 月・12,000 円～ / 年
法人会員：5,000 円～ / 月・60,000 円～ / 年

カード決済

こちらよりお申込みください。
<https://kessai.canpan.info/org/gnet/>



年間一括 銀行振込

こちらよりお申込みください。
<https://goo.gl/wFJMDu>



■銀行名 十六銀行 ■支店名 柳ヶ瀬支店
■口座番号 普通 1550777 ■口座名 トクヒジーネット

※定額・連続ではない、その都度のご支援もありがたくお受けしております。クレジットカードまたは銀行振込にて承ります。



NPO 法人 G-net

〒500-8844 岐阜市吉野町 6-2 ブラザービル 2 階

TEL 058-263-2162

FAX 058-263-2164

<http://www.gifist.net>

G-net

検索